

9月9日

自然の恵みに感謝 川湯保育園児が野菜の収穫を体験



大きなカボチャを収穫

川湯保育園(小林史和園長)の3歳から5歳児15人による野菜の収穫体験が9月9日、川湯地区で行われました。

この日は、川湯温泉5丁目(高橋ご夫妻宅)に訪問。園児たちは高橋さんの説明を聞きながら、無農薬栽培されたカボチャやトマトなどを丁寧に収穫しました。

新鮮な野菜は給食で提供され、園児たちは「あまい」、「おいしい」などと感想を述べながら、収穫体験を思い浮かべ感謝の気持ちいっぱいでお食事をしました。



9月19日

地熱発電について学ぶ 弟子屈中学校で特別授業を実施



生徒たち

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)(高原一郎理事長)主催の特別授業「地球の熱を電気に変える!! 地熱発電」が9月19日、弟子屈中学校(小林一博校長)の2・3年生を対象に同校で行われました。

現在「湯沼-アトサヌプリ地域」で地熱発電の資源量調査が行われている一環で、子どもたちに地熱発電について理解を深めてもらう目的で開催され、模型を使用した発電実験などに生徒たちは真剣に取り組んでいました。

9月27日

消防士の仕事を体験 第26回弟子屈防火フェスティバル開催



はし車からの眺めを堪能

9月27日、弟子屈消防署で第26回弟子屈防火フェスティバル(同実行委員会、弟子屈消防署、町消防団主催)が開催されました。

当日は弟子屈小学校吹奏楽少年団による演奏や、認定こども園まじゅりの園児による演舞「よっちょれ」のほか、I & Mパトンスタジオの皆さんによるパト車が披露されました。

また、体験コーナーでは防火服を着用した放水体験や、はし二車の乗車体験などが行われ、参加者は楽しみながら防火意識を高めました。

9月12日

豊かな感性を育む 子どもたちが人形劇を鑑賞



人形劇にみんな興味津々の様子

認定こども園まじゅり(高野龍彦園長)で9月12日、同園や川湯保育園、こども発達支援センターに通う子どもたちを対象に、(南)人形劇団ラルテ(奥洞昇君

締役)による人形劇鑑賞会が行われました。

今回は「ポリチーノのけっこんしき」と「かさじぞう」の2作品が上演され、劇中の楽しい歌声や愉快な人形の動き、引き込まれるストーリーに会場の全員が夢中になり、時にはみんなで歓声を上げながら楽しいひとときを過ごしました。

9月23日

道東の「旨いもの」が集結 第2回旨いもの市を開催



会場にはたくさん「旨いもの」が

町商工会青年部(西崎勉部長)が9月23日、役場駐車場で「第2回旨いもの市」を開催しました。釧路管内の商工会青年部などの協力により開催された本イベント会場には、カレーやまぜそば、ホットドックなどのほか、秋の名物焼きサンマなど、数々のグルメが並びました。

また、同会場では町内の小学5・6年生を対象とした職業体験イベント「第2回弟子屈Job School」も同時開催。警察署や消防署、建設業などの町内の仕事を体験しようと、会場は大勢の子どもたちで賑わいました。



児童たちがお祝いにお菓子を披露(美留和自治会)



最年長の出席者に記念の花束を(市街地区)



町長より祝いの品の贈呈(老人ホーム俣和園)

町民の長寿を祝い

町内各地で敬老会を開催

9月15日の敬老の日になみ、町内各地で敬老会が開催されました。

9月13日には、町と弟子屈町睦会(金澤三恵子会長)共催の「第77回弟子屈市街地区敬老会」が町社会老人福祉センターで行われ、134人が出席。徳永町長、高橋町議会副議長からお祝いの言葉が贈られたほか、喜寿、米寿を迎えた方に祝いの品が贈呈されました。

また、景品が当たるじゃんけん大会などのアトラクションも用意され、会場は大いに盛り上がりしました。

9月19日には、養護老人ホーム俣和園(丹羽好文園長)と特別養護老人ホーム摩周(高石和恵施設長)の合同敬老会が俣和園で行われました。会では徳永町長のお祝いの言葉に続き、喜寿、米寿、白寿を迎えた方に祝いの品が贈呈されたほか、今年度100歳を迎える方に内閣総理大臣からの賞状が贈られました。そのほか、町内で開催された敬老会はこのとおりです。

▽6日/仁多自治会(山内功丞会長)
▽13日/屈斜路自治会(金澤賢二会長)
▽14日/美留和自治会(渡邊良雄会長)
▽15日/川湯みどり自治会(石岡謙会長)
▽20日/川湯敷島町自治会(横田憲治会長)

町の話題



CloseUp Topics

親子で、家族で、楽しい1日を 「歯ピカ表彰式」と 「こどもフェスティバル」を開催



むし歯ゼロおめでとう!

9月20日、町公民館で「歯ピカ表彰式(役場健康こども課主催)」と「第18回こどもフェスティバル(同実行委員会主催)」が開催されました。

歯ピカ表彰式では、3歳児健診でむし歯のなかった子ども18人がステージに上がり、一人ひとりに表彰状が授与されました。

表彰式終了後、同会場でもスタートしたこどもフェスティバルの今年のテーマは「おやこであそぼう!」。

屋内には射的や輪投げ、小麦粉粘土などで遊べる「体験あそびコーナー」のほか、お手玉やけん玉を体験できる昔懐かしい「伝承あそびコーナー」、フロアカーリングやベタンクに挑戦できる「スポーツひろば」など、さまざまな遊びが用意されていました。



射的でお菓子を狙い撃ち



お友だちとヨーヨー釣りに挑戦

10月7日

川湯温泉街再整備のために 伊東内閣府特命担当大臣へ要望書を提出



要望書を受け取る伊東大臣(中央)

町は、川湯温泉街再整備事業などの推進のため10月7日、伊東良孝内閣府特命担当大臣へ要望活動を行いました。

要望には徳永町長をはじめ、町議会からは近江屋茂議長、徳永則行経済常任委員長のほか、(一社)摩周湖観光協会の渡辺隆幸会長が同席。川湯温泉街再整備の支援や、観光振興についての内容が盛り込まれた要望書を手渡しました。伊東大臣は「地方創生のため、しっかり支援していきたい。」と話しました。

10月5日

「みんなの交流の場」に 第13回ふれあい祭りを開催



会場は10店舗を超えるブースで大賑わい

ふれあい祭り実行委員会(藤原俊和実行委員長)主催の「第13回ふれあい祭り」が10月5日、町社会老人福祉センターで行われました。

このイベントは2011年から、障がいのある人もない人も、お年寄りから子どもまでみんなで支えあいながら生活できるまちづくりのきっかけの場として開催されています。

今年は町内外から、おでんや焼き鳥、駄菓子などの出店があったほか、ダンスや紙芝居、スコープ3味線など多彩なステージ発表も行われ、会場は大盛況でした。

10月10日

シカとの接触に注意 弟子屈警察署などが交通安全啓発



外国観光客への注意を呼び掛け

弟子屈警察署(鈴木将人署長)と町交通安全指導員たちが10月10日、シカとの接触事故防止を呼び掛ける合同啓発運動を、奥春別の国道241号線駐車帯で行いました。

道沿いに「鹿横断注意」と書かれたのぼりを掲げ、通行車両を駐車帯へと誘導し、ドライバーに接触事故の注意を呼び掛け啓発品を配布しました。

同署の樽聡地域・交通課長は「シカが活発になり接触事故件数が増加している。1件でも多く事故を減らしていきたい。」と話しました。

10月9日

豊かに実った秋の味覚 中学生らがブドウ収穫を体験



真剣な様子で収穫する中学生

屈斜路カルデラワイナリーを運営する(株)テシカガファーム(上村剛志代表取締役)が、ワイン用のブドウ「山幸」の収穫体験を10月9日、屈斜路球場で行いました。

今年の山幸は暑さの影響で房が小振りな分、果実における凝縮され、糖度は22.0度に達しました。

ブドウの収穫体験は秋の風物詩として毎年実施しており、この日は吉備津副町長や町商工会女性部のほか、弟子屈中学校(小林一博校長)の2年生27人が参加し、一房一房丁寧に収穫作業を行いました。

10月13日

一足早く「トリック・オア・トリート！」 美羅尾ヶ丘自治会子供会のハロウィンイベント



訪問先でお菓子をもらう子どもたち

美羅尾ヶ丘自治会(館部男会長)が10月13日、同自治会の生活部(畑尾彩部長)が運営する子供会のハロウィンイベントを開催しました。

イベント当日、カボチャのお化けやドラキュラなどに仮装した子どもたち18人が、同自治会の14世帯を元氣よく訪問。快く出迎えてくれた自治会の方たちから、たくさんのお菓子を受け取りました。子どもたちは、協力してくれた大人たちに感謝を述べながら、袋いっぱい集まったお菓子を前に大喜びしていました。

10月11日

自治会創立55周年を祝して 鎭別温泉桜町自治会創立記念式典開催



会場で記念撮影

10月11日、鎭別温泉桜町自治会(藤田利道会長)が同自治会館で、創立55周年記念式典を開催しました。

同自治会は昭和45年発足。50周年の節目に予定していた式典がコロナ禍の影響で中止となり、今年改めて開催する運びとなりました。式典には自治会員ら約35名が出席、徳永町長から祝辞が贈られたほか、食事が行われました。

徳永町長は、「日本各地で自然災害が多発する中、ご近所同士の顔が見えることは非常に重要。これからも地域住民の結束力が発展していくことを期待している。」と話しました。

9月28日

圧倒的なパワーに会場が熱狂 第14回摩周湖ばん馬大会を開催



砂を巻き上げ坂を駆け登るばん馬

摩周湖馬友の会(近江屋茂会長)主催の、第14回摩周湖ばん馬大会が9月28日、摩周湖馬場で開催されました。

開拓の歴史とともに歩んできたばん馬文化の継承と、地域活性化を目的に開催されている本大会ですが、今年は道内各地から60頭の馬が集まり、階級ごとに白熱のレースを繰り広げました。

また、会場にはポニーとのふれあいコーナーや飲食ブースなどが立ち並んだほか、抽選会などのイベントも行われ、子どもから大人まで楽しめる大会となりました。

9月30日

開校100周年を記念し植樹 川湯小学校で秋の木育活動を実施



苗木を植樹する川湯小学校の児童たち

来年度に開校100周年を迎える川湯小学校(山館孝志校長)が9月30日、記念事業の一環として秋の木育活動を同校敷地内で行いました。

児童たちは、木育マイスターの萩原寛暢さんから出題された、同校にまつわる樹木に関するクイズを通し、木の魅力や大切さについて学んだ後、低・中・高学年に分かれそれぞれ1本ずつイタヤカエデの苗木を校舎前の芝生に植樹しました。植樹を行った児童たちは「みんなで大切に育てていきたい。」と話しました。

9月28日

温泉川をきれいに ゆけむりエコプロジェクトin温泉川を開催



川底のごみをかき集める参加者たち

阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会(徳永則行会長)主催の、温泉川の清掃活動「ゆけむりエコプロジェクトin温泉川」が9月28日、川湯岩盤テラスで開催されました。

この活動は温泉川をきれいにするため定期的に実施しており、今回は岩盤テラスの開設1周年事業として行われ、一般応募者を含め30人以上が参加しました。回収した堆積物やごみなどは4,800kgを超え、参加者は「思ったよりごみがあり驚いた。きれいな温泉川が復活してくれるといい。」と話していました。

10月2日

ブドウ畑に道案内を 町にクニオカ工業(株)が看板寄贈



看板を寄贈した坂本課長補佐と諸戸先で常務を務めた執行役員(右から)

10月2日、クニオカ工業(株)(今誠代表取締役)が町に、屈斜路地域のワイン用ブドウ畑への案内看板を寄贈しました。

看板は同社が6月に地域貢献として畑を整地した際、工事部工事課の坂本大介課長補佐が「畑への道が分かりづらい」と感じたことをきっかけに、道営事業(草地整備弟子屈地区第81工区)で使用していた看板を再利用し製作されました。寄贈を受けた徳永町長は「以前の看板に比べて大きく、ブドウ色でよく目立つ。」と喜びを表しました。

9月30日

おいしい新そばを レストラン摩周が老人ホーム入所者を招待



新そばに舌鼓を打つ入所者たち

レストラン摩周を営む和田義光さんが9月30日、義養老人ホーム俣和園(丹羽好文園長)と特別養護老人ホーム摩周(高石和恵施設長)の入所者を招待し、関係者を含め53人に手打ちの摩周そばを振る舞いました。

新そばの時期であり、敬老の日のお祝いとして食べてほしいという思いから、今年で8回目の招待になります。この日の食事を楽しみにしていた入所者の皆さんは、新そばをすずり「コシがあってとてもおいしい。」と喜んでいました。